

# 「企業版ふるさと納税」の活用と、フードバンク事業再開について問う



質問者  
南雲 まさ子 議員



(1) 「企業版ふるさと納税」は令和6年度で終了となります。町の財政運営の一助となるこの事業に向けての地域再生計画の策定状況と今後の「企業版ふるさと納税」の活用について問います。  
(2) 令和3年10月に、フードバンク事業が始まりましたが現在中断されています。物価が高騰している中、生活が困窮され

ている方のためにフードバンク事業を再開するお考えはありますか。

## 企業版ふるさと納税とフードバンク事業の取り組みを促進

A



回答 (町長)

(1) 企業版ふるさと納税の地域再生計画は、令和2年に松田町総合戦略に位置付け、町を育む内容の6項目で策定し、現在まで13件3940万円の



フードバンク事業の担当窓口

寄附があった。今後企業版ふるさと納税の取り組みとして、まず町を知ってもらう努力をし、そこから企業版ふるさと納税の寄附に結び付けていく。  
(2) 町では、令和3年からNPO法人報徳食品支援センターと連携し、生涯学習センター1階に冷凍庫を設置し、生活困窮者に食品の提供を行ってきた。しかし令和4年度には、制度上に問題が生じ継続することが困難になった。現在は、個々の状況に応じその都度対応している。今後ルールを作り、食糧支援を必要としている方に食品が届くようにしていく。

# 松田町消防団員の確保と待遇等について



質問者  
武尾 哲治 議員



(1) 松田町民の生命と財産を守る消防団員の定数確保、なり手不足解消について質問します。

行政職員を確保する場合、どの役職まで携わる事が可能か問います。

## 松田町消防団員の確保に取り組んでいく

A



回答 (町長)

(2) 現在の団員の構成状況をみると、役場職員の構成比率も高く、大規模災害時に行政での災害対応を優先する事になり、実際の現場での対応が出来る団員が少なくなる。この状況を補うためにも行政職員以外の団員確保策を問います。

(1) 町の立場としては、自治会へお伝えする事は可能だが、強制力がないので、両団体のバランスがとれるように調整を行っていく。  
(2) 従来通りの募集を継



4年ぶりの酒匂川町民親水広場での出初式

続しつつ、団員増加に向け、魅力向上を図り、団員確保に取り組んでいきたいと考えている。  
(3) 課長級職は、災害などが発生した場合、町の災害対策本部等が設置されると、災害対応業務を優先する役割を担う立場になることから、自主的に退団をしているのが現状である。消防団の階級は、分団長まで可能だと考えられるが、災害等の発生時に分団を指揮する分団長が、不在になる可能性もあることから、役職については慎重に決める事が肝要かと考える。